

西階公園野球場施設整備基本構想（案）に関する意見募集結果一覧

区分	分類	意見要旨	意見（原文）	本市の考え方・対応	
整備方法	整備方針	プロ野球に対応した施設整備	プロ野球が開催できる規模の球場に改修し、NPBのプロ野球や、九州独立リーグなどの試合を1年に1～2回程度実施すれば、延岡の更なる活性化に繋がるのではないかと。延岡でプロ野球を開催すれば、お祭り騒ぎは間違いなしだと考えている。	今回整備する野球場については、公認野球規則や国民スポーツ大会の競技会場としての基準を満たすことはもとより、プレーする人、観る人の双方にとって利便性や必要な機能を確保するとともに、周囲の景観への配慮や市民の皆様の親しみ易さなど、外観も含め、様々な視点で検討していくこととしております。このような中で、他施設の例のほか、利用者が楽しくなる施設という視点も一つのキーワードになると考えますので、ご意見を参考にさせていただきながら検討していきます。	
整備方法	整備方針	整備にメリハリをつけ、カラフル・ユニークで楽しくなるデザインの野球場整備	誰が見ても誰が考えてもウキウキしてカラフルでユニークで楽しくなるベースボールスタジアムとする。豪華という意味ではなくお金をかけなくてメリハリをつける。		
整備方法	整備方針	観客席の工夫	観客スタンド等も国内だけでなく大リーグの球場イメージも参考とする。		
整備方法	整備方針	ありきたりでない野球場整備	野球場らしくない野球場とする。ありきたりの球場とはしない。		
整備方法	設備	規定に沿ったマウンドの高さ確保	マウンドの高さを規定通りの高さにしてもらいたい。夏の大会で使用するサンマリンに近い等見ていただき、同じようにしていただきたい。そうすることによって、延岡の高校球児が宮崎市内の球児と互角の戦いができるのではないかと思います。プルベンも同様をお願いします。	西階公園野球場は、本市で唯一、硬式野球・軟式野球の両方に対応した市有の有料施設である一方、建設から55年が経過して老朽化が進んでいることや、第81回国民スポーツ大会開催に向けた整備が急務となっています。このような中、国民スポーツ大会後の利活用も検討した上で、レガシーとして残っていくような施設整備を行うことにより、市内の硬式・軟式野球競技の活性化はもとより、ご意見の高校野球の予選のみならず、大規模な大会誘致のほか、多目的屋内施設と連携した施設の活用による合宿・キャンプの更なる誘致など、本市が進めるアスリートタウンづくりや交流人口の増加等に寄与するものと考えます。また、災害時においては、ヘリポートや一時避難場所として活用できる等、防災機能の向上にも資するものと考えています。なお、整備にあたっては、国の交付金や起債などの有利な財源を活用して市の負担をできる限り少なくしていきたいと考えています。	
整備方法	整備方針	厳しい財政状況の中で、多額の費用をかけて野球場を再整備するメリット	コロナ禍に於いて政府は、コロナ対策や五輪対応として厳しい財政の中、更なる大幅な赤字国債を発行し将来に大きな不安（大增税）を抱えています。その様な中、延岡市の令和3年度予算は、市税である自前財源は1/4ほどしかなく残りは国からの交付金や支援金等に頼っています。このような非常に厳しい財源の中、令和9年度に行われる予定の第81回国民スポーツ大会の軟式野球やソフトボール競技会場として使用される為だけに再整備される西階公園野球場整備には、約27億円を投資するとの事ですが、第81回国民スポーツ大会終了後に再整備された西階公園野球場がある事で、延岡市及び延岡市民に対して今後どれだけのメリットがあるのかを具体的に提示して下さい。（例；再整備された野球場と隣接する多目的屋内施設を活用してプロ野球のキャンプを誘致する。高校野球の春・夏予選試合を誘致する等・・・延岡市の活性化へとつなげる）		
整備方法	安全対策	飛球対策として市道の上に天井を設置	ファールボールの安全対策として、現在は防球ネットの高架による対策案が示されているが、野球場横の市道の上に天井を作れば、野球場と補助グラウンド両方の飛球対策になると考える。		飛球対策は、安全・安心な公園利用・施設利用のために重要な課題であると認識していますし、本構想（案）の策定段階においても、競技関係者や検討会議等から様々なご意見をいただいたところです。現在は、防球ネットの高架による飛球対策を検討しているところですが、今回いただきましたご意見や整備費用の面なども含め、引き続きより良い整備方法を検討していきたいと考えています。
整備方法	安全対策	市道の上に設置した天井をアップ会場として使用	2-①のファールボール対策で作った天井の上を練習会場にしてはどうか。2階の屋外でウォーミングアップ練習ができ、次の試合のチームにも連絡やアナウンス放送が行き届きます。		
整備方法	機能	球場回りの雨宿り場所の確保	次の試合の関係者の雨宿りするところがないと、使い勝手の悪い不人気の球場になってしまいます。正面玄関前に雨宿り領域を作ると、テナント出店やイベント開催もできます。観客や部外者も雨宿り利用可能となり、色々配慮された球場との高評価が得られます。	スタンドや階段、ゲート付近への屋根設置については、基本構想（案）にも検討項目として記載をしております。ご意見の正面玄関付近等への屋根設置等も含め、今後、設計を進める中で検討していきたいと考えています。	
整備方法	機能	野球以外の多目的な利用	野球プレーが目的のスタジアムであるが、別用途での利用（内・外野、場内設備施設）も推進する。	施設の多目的な利用等は、施設の利用増や交流人口の拡大等にも寄与するものと思われまますので、今回いただいたご意見や他の野球場の活用事例等も参考にしながら、必要な施設機能・設備の整備、活用方法等について、引き続き検討を進めていきたいと考えています。	
整備方法	機能	歴史資料室設置	場内施設も例えば延岡市の野球の歴史を一堂に集めた資料室。		
整備方法	機能	多目的ホール設置	多目的スペースを備えたホールの設置。		
整備方法	機能	室内練習場、冷房設備、ウエイト場の設置	室内練習場、冷房設備、ウエイト場等あればありがたいです。		
その他	機能	野球場周辺のチームアップ場所の確保	野球場周辺のチームアップ場所を確保していただきたい。ケガ防止を目的としているにも関わらず、場所がなく球児のケガにつながると思います。	構想案に記載のとおり、野球場内でのアップ会場の確保を検討するほか、近くに整備する多目的屋内練習場との連携活用も含めて検討を進めていきたいと考えています。	
その他	管理運営	ネーミングライツ導入	スタジアム名にネーミングライツを取り入れる。	他自治体の事例等も参考にしながら検討したいと考えています。	
その他	管理運営	球場全体への看板設置	ゴールデンゲームズ時の看板ではないが、球場全体に工夫した看板（スポンサー名）を設置する。		
その他	管理運営	民間資金等活用	建設時の設備及び運営維持に民間の資金を導入する。	今回の整備に着手するに当たり、国の制度に従ってP-PFI（公募設置管理制度）の検討も行いましたが、施設整備や管理運営のノウハウがないことや収益面等の理由により、民間の参入が難しいと考えられることから、結果として指定管理者制度を導入し、市において整備する方針としております。なお、ネーミングライツ導入をはじめ、様々な民間資金活用方法については、引き続き調査し、実施可能な手法については導入する方向で検討したいと考えています。	